

2022 1

オールジャンルの注目株がズラリ

イチオシ作家

2022

絶対必見の50人+α

月刊  
美術

No.556

Since 1975

新年号



# チェン・ジャン・ホン

CHEN Jiang Hong

水墨と油彩、  
東洋と西洋、  
伝統と革新  
調和が生み出す、  
生命の崇高性



《祥蓮》 112×145cm 油彩、キャンバス



《傑》 130×130cm 油彩、キャンバス

1963年中国天津生まれ。北京中央美術学院で中国伝統の水墨画を習得。87年渡仏、エコール・デ・ボザール（パリ）にて油彩画を学ぶ。以後、パリを拠点に制作。主な作品収蔵にスナイト美術館、マトハフ・アラブ近代美術館など。また、パリや東京、上海など世界の主要都市有数のホテルやランドマークとなる建造物の壁面を飾っている。

チェン・ジャン・ホンは、中国で伝統的な水墨画を、パリで油彩画を修め、墨と油彩を自在に操る独創的な画法を確立、東洋と西洋、伝統と革新の調和を追求し続ける偉才だ。力強い筆勢の線描、ぼかしや飛沫で描く穏やかな色調で、生命の崇高性を優美に表現する。中国の花鳥画を代表するモチーフである「蓮」を中心に描いてきた作家は「私は挿し木の枝なのです。中国で切り取られ、ここフランスで芽を出したのです」と語る。遠い異国に在るからこそ母

国を体現しようとする意志が滲む。近年では風景など日常から着想を得た様々なイメージの作品を加え、より抽象性の高い新境地を展開。秋には、そうした作品群を東京と大阪で発表予定。世界中のコレクターを唸らせる無二の世界を堪能したい。



中国の伝統的な水墨画と、西洋の油彩画とを修め、洋の東西を超越した世界を描くチェン・ジャン・ホン。ギャラリーためながと独占契約し2007年にパリ店での初個展を成功させた作家は、著名コレクターの人気を集める存在に成長しました。秋に東京と大阪で開催される個展で、その作品世界をお楽しみください。（ギャラリーためなが・爲永清嗣）

## ギャラリーためなが

東京都中央区銀座7-5-4

☎03(3573)5368

<https://www.tamenaga.com>

▶10月29日～11月20日・上記画廊にて

個展開催／11月5日～27日・ギャラリー

ためなが大阪店にて個展開催